
惚れ薬と大人の事情

雪月花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

惚れ薬と大人の事情

【Nコード】

N2381N

【作者名】

雪月花

【あらすじ】

惚れ薬を買った男の目的は……

(前書き)

かなり短いです。

久々に書いたので作品の質は凄く悪いですが、最期まで読んでくだされば嬉しいです。

「そういうので人に好きになって貰うのは……駄目だと思います」

一人の少女が男に向かって少し弱気に、されどはつきりとそう言った。

先程この男は、魔女見習いのこの少女の師匠から『惚れ薬』を買ったのだ。

それを見た少女は、この男を止めようと思った。

惚れ薬を男に使われる相手に対しての同情か、それとも少女の優しい性格が反射的に男を外道から救おうとしているのか。

それは少女自身にも分からなかったが、どうしても黙っていられなかったのだ。

「そんなのはずるいと思うんです」

そんな少女に対して、男は少女に優しい口調で答えた。

「お嬢さん。君が思っている程大人の事情は単純じゃないんだよ」

その言葉に対して少女が何か言おうとしたが、それを男は遮って言った。

「これは僕が好きな人に使う物ではないんだよ」

男の言葉を聞いて、少女はキョトンとした顔になる。

じゃあ誰に、何の為に使うの？ という疑問が少女の顔に出ている。

そんな少女の表情を見て、男は寂しげな表情で笑った。

「僕はこれがある人を好きになる為に自分に使うんだ。別に好きでもない、親が自分の利益の為に勝手に決めた結婚相手を好きになる為にね」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2381n/>

惚れ薬と大人の事情

2010年10月15日22時35分発行